Creative Enzymes®

ベーカリー酵母 (S. cerevisiae) カルボキシペプチダーゼ Y、組換え

Cat. No. NATE-0103

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	カルボキシペプチダーゼY (CPY) は次の反□を触媒します：ペプチジル-L-アミノ酸 + H2O ----> ペプチド + L-アミノ酸。これはMoore & Steinの方法に従って調製されます (J. Biol Chem, 211, 907, 1954)。これは基質特異性においてカルボキシペプチダーゼAに似ていますが、C末端のグリシンとL-ロイシンをより速く加水分解し、L-フェニルアラニンはより□く加水分解します。
別名	カルボキシペプチダーゼY; セリンカルボキシペプチダーゼI; カテプシンA; リソソーム保護タンパク質; デアミダーゼ; リソソームカルボキシペプチダーゼA; フェーズリン; EC 3.4.16.5; 9046-67-7; ペプチジル-L-アミノ酸ヒドロラーゼ; セリンカルボキシペプチダーゼ; カルボキシペプチダーゼC; ペプチジル-L-アミノ酸（-L-プロリン）ヒドロラーゼ; EC 3.4.12.8

製品情報

種	S. cerevisiae
外□	透明、無色または淡い色
形態	500 mM 塩化ナトリウム、500 mM イミダゾール、20 mM 一塩基性リン酸ナトリウム、20 mM 二塩基性リン酸ナトリウム、pH 7.5
EC番号	EC 3.4.16.1
純度	> 90 %
活性	10u/mg
濃度	約0.1 mg/mL
単位定義	酵素活性の1単位は、1分間に1マイクロモルの基質の加水分解を触媒する酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法	長期的には-20°C以下、短期的には2-8°C。複数回の凍結と解凍を避けてください。